

# Secrets of Life

旧日本銀行広島支店

2021年10月9日-10月17日

コロナ禍の中でも写真を手段として表現する行為の継続と文化の向上をめざし、被爆建物である旧日本銀行広島支店で写真展を開催しました。

今回はコロナ禍の“平和な日常”における暮らしと命の機微に触れる写真により我々の命を照らし出せればと願います。

また、広島と他の地域の写真家の交流を通して、孤立する現在の状況に風を通したいと思います。





写真展  
**Secrets of Life**

笹井晴

小林智恵

辻村 耕司

中原 達洋

宮内 民生

南條 由佳

UYUTO

有木 麗子

田村 虎之亮

山本 光一

2021年10月9日(土) - 17日(日) 旧日本銀行広島支店  
 広電袋町電停前  
 10:00 - 19:00  
 最終日は17時まで  
 入場無料

写真展詳細

シークレッツ・オブ・ライフ  
**Secrets of Life**

さまざまな世代の写真家が生活の中で、誠実に写した分身のような写真です。  
 こころの深いところから湧きあがる想い。これらの写真は、本人さえ気づかないそうした世界を見せてくれるかもしれません。

**宮内民生 (Miyuchi Tamio)**

●タイトル 「at home」

人々の暮らしの陰影が刻み込まれた住空間に歴史の面影を見出しながら撮影を続けている。

<略歴>  
 学生時代に写真を始め、写真と深く関わってきた。  
 1960年代～90年代：多数の写真活動に関わる。東松照明写真展実行委員他  
 写真展 1990年代・SOIL展他、2018年ギャラリー611、2019年旧日銀写真展

**山本 光一 (Yamamoto Koichi)**

●タイトル 「a Brand New Day ～風の贈り物」

プレゼントはいつもあなたと私、送る人と送られる人、私につながる人、あなたからの、あなたへのプレゼント

<略歴>  
 風展(鹿児島)、SOIL展(新宿)、個展(松江)、個展・グループ展(広島)  
 細江英公WS作品展(広島市現代美術館)、2017年からグループ展(交差611)  
 2019年から「それぞれの花」、「それぞれの物語」(旧日本銀行広島支店)

**中原達洋 (Nakahara Tatsuhiko)**

●タイトル 「Distant Episodes」

思いつきで出かけた県内各地への日帰り旅。どこへ行くでもない、でも何かへの大きなまわり道。そこで出会ったいくつもの光景も今となっては遠い挿話。10年間集り溜めてきた中から、いま心に引っかかるものを紹介します。

<略歴>  
 2003年 雑誌で見かけた中平卓馬の写真に刺激を受けて、写真を始める。  
 2007年 尾仲浩二ワークショップ「街道塾」参加。現在までに8回個展を開催。

**田村 虎之亮 (Tamura Toranosuke)**

●タイトル 「Near」

2021年、実家の近所を歩き回ったスナップ。日々生きているその瞬間、もう一つの時間が、確実に流れていることを感じてもらえれば幸いです。

<略歴>  
 1998年 広島県生まれ  
 東京総合写真専門学校研究所  
 2020年 写真展「暴虎馮河」 Gallery Paper Pool

**辻村 耕司 (Tsujiura Koji)**

●タイトル 「旅の始まり - 奥丹後 1975-1978 -」

1970年代後半に撮影した京都府の日本海に面する丹後半島の写真です。大学に入り意識的に写真を始めるきっかけとなった出会いを振り返ります。

<略歴>  
 1957年 滋賀県生まれ、1975年から大阪で暮らし1990年にUターン。  
 1993年から写真撮影を生業としています。  
 2018,2020「BIWAKOビエンナーレ」(滋賀県近江八幡市)に出演。

**小林智恵 (Kobayashi Tomoe)**

●タイトル 「Secrets of Life」

コロナ禍や災害で大好きなカメラさえ握りにくくなった昨今ですが、それでも日々は続いて、この一年ファインダーを通して私が見つけてきた人々のストーリーや風景を回想したいと思います。

<略歴>  
 2014年 写真を本格的に学び始め、以降幅広く活動。  
 2020年 写真展「それぞれの物語」参加 2021年 HITひろしま観光大使

**有木 麗子 (Reico Arika)**

●タイトル 「虚像と実像 ～時空を超えて」

「100年前のアンティークの鏡に映し出された現在の人物」が織りなす物語。

<略歴>  
 2015年 写真家集団K-Lovers Photographersで表現としての写真の基礎を学ぶ。  
 2019年 独立。  
 記録写真、ポートレート写真の依頼も受けながら度々欧州などへも足を運び「表現」としての写真を追求・模索している。

**笹井晴 (Sasai Haru)**

●タイトル 「若者のテーマ」

歳を重ねるにつれて、見えてくるものはとても沢山あるのだと思います。その一方、見ること辞めた景色も沢山あるのでしょうか。若者と、若かった人達が僕の写真を通じて、ほんの少し繋がれたら嬉しいです。

<略歴>  
 1999年生まれ、福岡県在住。高校卒業後の2年間を海外で過ごす。  
 写真展は、今回初めて参加させていただきます。お手柔らかに。

**南條由佳 (Nanjo Yuka)**

●タイトル 「痛(かさぶた)」

誰もが抱えている心の中の痛みや傷跡を表現しようと思いました。

<略歴>  
 2015年 本格的に写真を始める  
 2016年 ニッコールフォトコンテスト準特選  
 2017年 日本カメラビギナーズ年度賞、視点展入選  
 2020年 個展「痛」開催(香川県多度津町にて)ニッコールクラブ高松支部所属

**UYUTO (ウユート)**

●タイトル 「五感が刺激された場所」

出張先で、少し遠回りをして撮りためていた写真たち。北海道から鹿児島まで色々な日本の一部を切り取りました。

<略歴>  
 2019年 フォトグラファー 2020年 アパレルデザイナー  
 2021年 着物リメイク作家としても活動。  
 2019年 公募展「めざせ個展」に出演。グランプリを獲得。  
 2021年 レザーショップREN蔵前店にて期間限定shop。2010年アクセサリ作家



## 会場展示風景(全景)



1945年8月15日に被爆しましたが、数日後には営業を再開した建物です。  
左側にカウンターがあり、事務所部分に展示をしています。



# 会場展示風景(辻村)



3坪ほどの面会室に写真を展示しました。

旅の始まり  
- 奥丹後 1975,1979 -



辻村耕司





## 会場展示風景(辻村)



大学に入った年、写真部の夏合宿で撮影した丹後半島。1975年の夏に見たホタルの群れが飛び交う田圃は夢のような景色でした。過疎化により行われなくなった秋祭りの神楽が復興されたり、集落に変化が感じられる中での撮影でした。大学に入り意識的に写真を撮り始めるきっかけとなった出会いを掘り起こし、新たに組み直した写真群です。今見直すと田植機やコンバインにより農業が機械化される直前の農村風景を撮影していたのだと気づかされました。